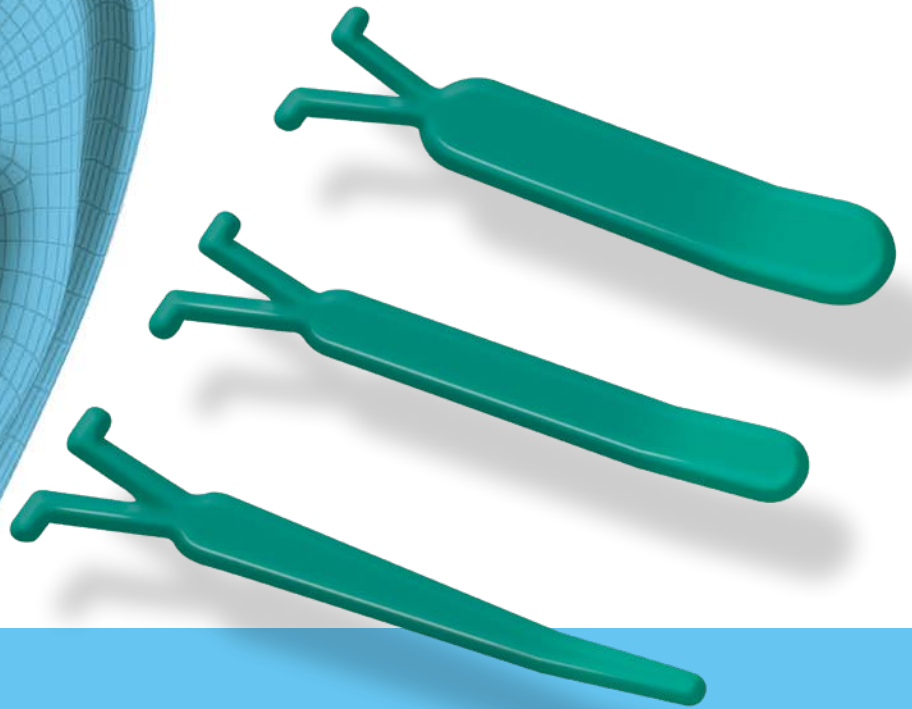
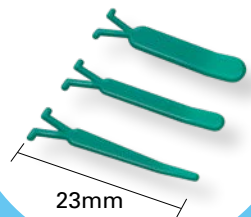


耳管用補綴材
耳管ピン

耳管に留置することで、過度に開放している耳管内腔を狭くし、
難治性耳管開放症の症状を改善します。

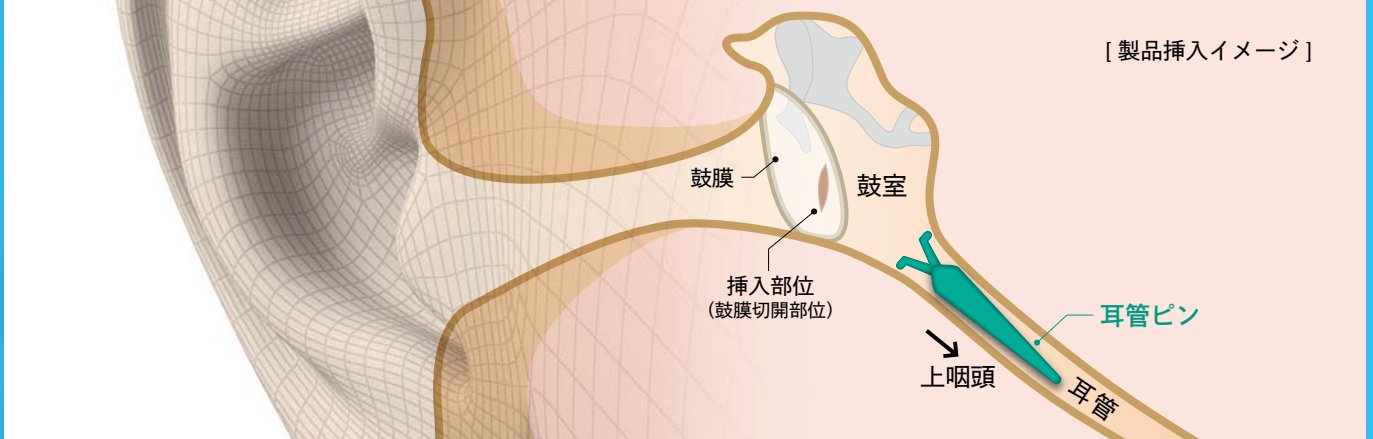


[原寸大]



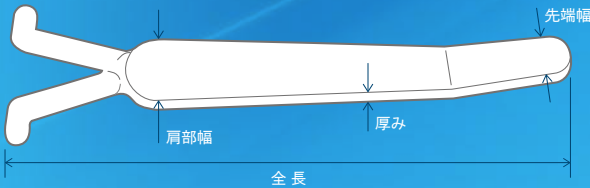
耳管ピン

耳管に留置し過剰に開放している耳管内腔を狭くすることで、自声強聴、耳閉感及び自己呼吸音聴取などの難治性耳管開放症の各種症状を改善します。



[特徴]

- ・造影剤を添加したシリコンゴム製の本体は、用途に合わせて先端幅の異なる7サイズを取り揃えております。
- ・咽頭への脱落を防止するため、後端部はフック状になっています。



[使用方法]

事前に耳管機能検査、画像診断等を行い、使用するサイズを選択する。

挿入方法

- ・鼓膜を切開し、切開した部位（鼓膜前上象限）より、鉗子等で把持した本品の先端を鼓膜裏面に差し込み、ゆっくりと耳管鼓室口から滑り込ませる。
- ・後端部のフック部を、片方ずつ穿孔から鼓室内にゆっくりと挿入する。
- ・本品が完全に鼓膜の内側に入るように押し込む。
- ・本品が適切に留置できていることを確認し、鼓膜切開部を被覆する。

[規格・仕様]

製品番号	サイズ	先端幅	肩部幅	全長
5227003	3号 (厚み1.0mm)	1.0mm	2.5mm	23mm
5227004	4号 (厚み1.0mm)	1.5mm		
5227005	5号 (厚み1.0mm)	2.0mm		
5227006	6号 (厚み1.0mm)	2.5mm		
5227016	6号 (厚み1.5mm)	2.5mm	3.0mm	
5227017	7号 (厚み1.5mm)	3.0mm		
5227018	8号 (厚み1.5mm)	3.5mm	3.5mm	
5227019	9号 (厚み1.5mm)	4.0mm		

材質：シリコンゴム（造影性あり） ※ラテックスフリー

販売名：耳管ピン
 一般的名称：耳管用補綴材
 クラス分類：高度管理医療機器
 医療機器承認番号：30200BZX00177000
 特定保険医療材料請求名：208 耳管用補綴材

[使用上の注意]

使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

- ・唯一聴耳及び良聴耳の患者（鼓膜穿孔などに起因する軽度な聴力低下によっても、QOL低下が起こりうるため）

重要な基本的注意

- ・本品の使用にあたっては、日本耳科学会の定める耳管ピン手術実施医制度に則って使用すること。
- ・抜去する際は、鼓膜切開後に本品のフック部を鉗子等で把持し、フック部を片方ずつ穿孔から引き出すようにしてゆっくりと引き抜くこと。
- ・術後に入替えを行う場合には、2回以上の入替えに対する有効性及び安全性は臨床試験では検証されていないことに留意すること。
- ・鼓膜穿孔の残存や耳管閉塞に伴う滲出性中耳炎発生を念頭に、定期的な術後経過観察を行うこと。
- ・感染に伴うコントロール困難な耳漏が出現した際は、速やかに本品を抜去すること。
- ・出産に伴う耳管形状の変化によって滲出性中耳炎を発症するおそれがあるため、最新のガイドラインを基に慎重に判断すること。
- ・低年齢の患者は本品によって滲出性中耳炎を惹起するおそれがあるため、最新のガイドラインを基に慎重に判断すること。

発売元

代理店



富士システムズ株式会社
<http://www.fujisys.co.jp/>

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-14
 札幌支店 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6-2-2
 仙台支店 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-15-1
 大宮支店 〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-2
 東京支店 〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-14
 名古屋支店 〒460-0007 名古屋市中区新栄2-19-6
 大阪支店 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-7
 広島支店 〒730-0015 広島市中区橋本町10-10
 福岡支店 〒812-0038 福岡市博多区祇園町1-40

TEL (03) 5689-1901 FAX (03) 5689-1907
 TEL (011) 211-0751 FAX (011) 211-0783
 TEL (022) 748-4201 FAX (022) 748-4204
 TEL (048) 729-6480 FAX (048) 644-9004
 TEL (03) 5689-1901 FAX (03) 5689-1907
 TEL (052) 265-9221 FAX (052) 265-9225
 TEL (06) 6943-8404 FAX (06) 6943-1425
 TEL (082) 555-8091 FAX (082) 227-4255
 TEL (092) 262-6777 FAX (092) 262-6770